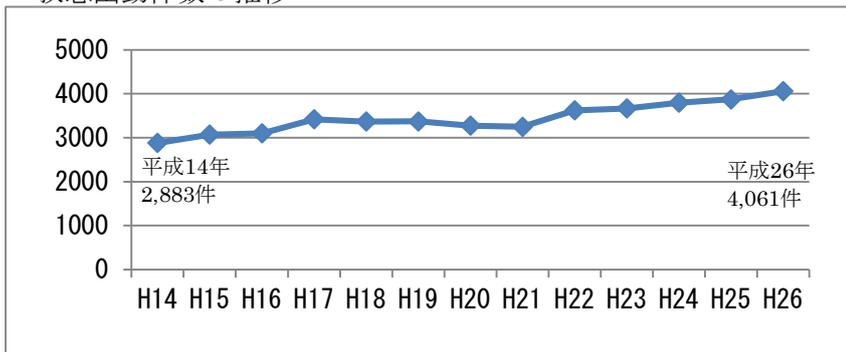


救急車の適正利用にご協力ください

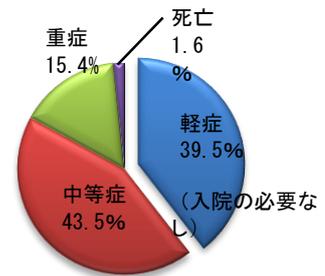
平成 26 年に救急車で搬送された人は、3616 人でこのうち、**軽症者（入院を必要としない）が全体の約 4 割**を占めています。このままでは、緊急性があり本当に救急車を必要とする人への適切な救命処置等が遅れ、救える命が救えなくなる恐れがあります。

救急車は、緊急性があり命にかかわるようなけがや急病の人を一刻も早く病院に搬送する必要がある場合に利用するものです。

救急出動件数の推移



搬送人員の内訳



《平成 26 年中の救急出動》

- 救急出動件数 **4,061 件**（過去最高）
1 日約 11 件出動
- 救急車で運ばれた人の数 **3,616 人**
1 日約 10 人

本当に救急車が必要
ですか??
もう一度考えて!!



こんな症状がみられたら、ためらわずに 119 番を

- 意識がない又はおかしい
- けいれん
- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど
- 冷や汗を伴う強い吐き気
- 食べ物をのどにつまらせ呼吸が苦しい
- 交通事故にあった
- 突然の激しい頭痛・胸痛・腹痛
- ろれつがまわりにくい
- 顔半分が動きにくいあるいはしびれる
- 顔色が明らかに悪い
- 支えなしでたてないぐらいのふらつき
- 吐血や下血
- おぼれている

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合